



## 「産学官」×「民」で生駒ならではの脱炭素まちづくり 7月29日(土)、脱炭素シンポジウムを開催

本市が全国で初めて住宅地公募モデルとして国の脱炭素先行地域に選ばれたことに合わせて、脱炭素シンポジウムを開催します。自治体新電力「いこま市民パワー(株)」や「複合型コミュニティ」といった本市の特徴的な事業を組み合わせる、「市民参加型脱炭素まちづくり」について考えましょう。

### ■概要

- 1 日時 7月29日(土)14:00~16:30 (開場は13:30)
- 2 場所 南コミュニティセンターせせらぎ
- 3 内容

◇基調講演／京都大学大学院経済学研究科・経済学部教授の諸富徹さん

自治体が主導するカーボンニュートラルの意義と住宅都市生駒の可能性をテーマに、脱炭素先行地域評価委員会の座長の経験を踏まえた生駒市のプロジェクトや、地域新電力いこま市民パワーに期待する役割・意義などの講演です。

◇話題提供・パネルディスカッション

各パネリストからの話題提供後、「産学官」×「民」で目指すサステイナブルシティ・生駒をテーマにしたパネルディスカッションを行います。

・奈良先端科学技術大学院大学教授 浦岡行治さん

「住宅都市を電源化する次世代・薄膜フィルム型『ペロブスカイト太陽電池』」

・TJグループホールディングス(株)代表取締役 東野隼士さん

「木質バイオマス発電所の竣工でエネルギー地産地消に貢献」

・いこま市民パワー(株)代表取締役 鐵東貴和さん 「いこま市民パワーの連携拡大の可能性」

・萩の台住宅地自治会長 山下博史さん 「萩の台住宅地自治会の取組、今後の展開」

・生駒市長 小紫雅史 「脱炭素で私たちの毎日はどうかわるか」

4 定員 300人(当日先着順。費用無料)

5 その他 手話通訳・要約筆記あり。ペロブスカイト太陽電池の紹介、「複合型コミュニティ」(まちのえき)の取組紹介、いこま市民パワー紹介ブースなども設置します。

この件に関する報道関係からのお問合せ

生駒市 SDGs 推進課 (課長 金子、課長補佐 木口) ☎0743-74-1111 (内線 2100、2101)